

みんな の ひろば

社会福祉法人 岡山中央福祉会 岡山中央福祉会 友の会 機 関 紙

Vol.025

2026.1

制作・発行 法人機関紙編集委員会 FAX 086(943)1716
住所 岡山市東区西大寺中野677-1 E-mail kenseien@circus.ocn.ne.jp
電話 086(943)1701 Web Site https://www.chuo-fukushikai.jp



ケアハウスあかね 栄養部



法人理事長挨拶

岡山中央福祉会 理事長 井場哲也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より、友の会会員の皆さま、地域の皆さまには格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。旧年は介護保険制度施行25年の節目の年として高齢者介護に関わるさまざまな課題が明らかになりました。「利用しなくともサービスを利用できない」「利用料が高くて施設に入所できない」「人手不足で事業の継続ができない」「物価高騰で事業所経営が行き詰まり閉鎖するしかない」等と介護を取り巻く様々な声が表面化しました。

本年は、地域共生社会の実現や多様な福祉ニーズへの対応がより一層求められる年となります。当法人は、地域の一員として「支え合い・つながり合う社会」の実現に向け、事業の充実と質の向上に努めてまいります。友の会会員の皆さまとともに歩み、安心して暮らせる環境づくりに貢献してまいりますので、本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

友の会会長挨拶

岡山中央福祉会友の会 会長 佐藤樹

新年明けましておめでとうございませう。

最近世界では嬉しいこと、そうでないことがありました。嬉しいニュースはアメリカのニューヨーク市長選挙で民主的社会主義者といわれるマムダニ氏が勝利したこと。マムダニ氏は大企業や富裕層の増税を提案し、家賃補助を訴えています。また、選挙での訪問活動を強調し、短期間で党員10万人を増やしています。まだ34歳ですが対面で話し合っただけで嘘のない社会をつくりつつあり、日本も見習うべきです。嬉しいニュースはトランプ大統領の核実験再開です。嬉しいニュースに励まされ、地域で結びつき合いながら、班とブロック活動を進め、今年も多くの方の会員さんを迎えましょう。



穂香の里 楽しい冬がやって来た♪

穂香の里では毎年大きなクリスマスツリーが登場し、寒い冬を彩っています。

今年も本格的な冬を迎える前に、ツリーの飾りつけを行いました。職員と利用者様に加え、実習に来ていたソワニエ看護学校の実習生さんにも手伝ってもらい、たくさん飾りをつけていきます。



クリスマスソングを聴きながらの作業に自然と気持ちがあわわくしてきます。実習生の皆さんが利用者様と一緒に作成したリース飾りをつければ、完成！寒い季節ですが、冬ならではの楽しいことを見つけてながら、元気に過ごしていきたいです。



地域で多彩な取り組み

2025年度岡山中央福祉会の強化月間

班会で会員さんと職員が交流

10月から12月までの3カ月間取り組まれた「岡山中央福祉会の強化月間（以下「強化月間」）。経営強化や職員育成、友の会の組織づくりなど20の課題に取り組みました。



昨年度から班会を再開した友の会では、施設見学で事業所の様々な取り組みを聞き、職員と交流。見学では「費用はどれぐらい?」「病気をしても利用できるの?」などの質問が次々出され、職員も丁寧に答えました。

新しい会員さんを迎えて誕生した元気っ子西大寺保育園の

保育士さんの班では、子どもさんと保護者の集まりに健生園デイサービス職員がウォーリーに扮して参加。会場の旭東公民館に集まった参加者の前で元気に体操指導し、世代交流しました。「仕事上、どうしても腰痛がひどい」という保育士さんの声に、今後は腰痛予防の班会も予定しています。



地元町内会で介護保険説明

ケアハウスあかねの地元吉原町内会では、約15年ぶりに学習会を開催。健生園居宅介護支援事業所のケアマネージャーが介護保険制度を説明し、互いに意見を出し合いながら交流しました。終了後は「毎年こうした機会を作っていこう」と話も弾みました。

このほか岡山市緑花公園周辺での健康ウォーキングや、事業所でのまつり開催など、多彩な取り組みが行われた強化月間。今後の活動に弾みのつく3か月間となりました。



9条の碑建立へ 碑作者・山内若菜さん講演会

岡山市に憲法9条の碑をつくる運動が実を結ぼうとしています。11月23日には、碑の作者で画家の山内若菜さんの講演会が岡山国際交流センターで開催。全国の中学校で命の授業として移動型展示講演会を続けており、「日本全国に9条の碑を広げてほしい」と話しました。

また、会場には山内さんの作品が多数展示され、その中でも被爆した第五福竜丸と被爆地広島を描いた長さ16mの作品は圧巻で、来場者は立ち止

まって関心を示していました。

この間集まった建立募金は260万円で、目標の300万円まで少しとなりました。また、設置場所は岡山駅西口の虹色薬局

玄関前に決定。岡山医療生協誕生の地であり、目につきやすい場所でもあることから、多くの方から切望されていました。



バザー品

ありがとうございました

12月14日に西大寺緑花公園で西大寺朝市があり、友の会が生花とバザー品を販売し、多くの来場者で賑わいました。紙面をお借りして、バザー品提供のお礼をさせていただきます。



碑

前号「介護保険制度の改善を」の記事で、署名実施の場所を文中「味彩館Aコープ西大寺前」とありましたが、正しくは「コープ西大寺店」でした。訂正しお詫びいたします。

福祉ネイルで笑顔の花が咲きました！



コロナの影響で中止していたお祭りを6年振りに開催しました。施設内だけのお祭りでしたが、地域ボランティアによる傘踊り・銭太鼓など皆さんに楽しんで頂きました。「たくさん笑顔をお届けする」をコンセプトに、今回初めて福祉ネイルのブースを出しました。

ブースは予約が殺到！事前に色選びもしていましたが、色とりどりのネイルの前に「どの色にしよう？」「かわいいなあ」とまるで皆さん少女のよう。施術中もネイルリストの手に集中し出来上がると全員が「まあきれい！」と笑顔全開。飛び切りのスマイルで「見て〜」と見せあいはいはしゃぐ姿。女性はちよつとした指先の色に心躍り、華やかにも癒しにもなるものです。「やっぱりおしゃれって素敵！」そう思う瞬間でした。岡山中央福祉会にはOBを含め現在3名の福祉ネイルリストがいます。この会陽の里から始まった笑顔の連鎖を、他の施設にも是非広げていきたいと思っています。



みんな主役！！
2025
デイサービスセンター
かなおか
運動会



デイサービスセンターかなおか恒例秋の運動会が開催されました。ご利用者の皆さんや職員が一緒になって、笑顔いっぱいさまざまな競技に挑戦しました。最後は、頑張ったみなさんに優勝旗と賞状の贈呈。ご利用者さん同士や職員との交流が深まり、笑顔と笑いにあふれた素敵な運動会となりました。

「来年も楽しみですね！」と声を揃える姿が印象的でした。

5m走



パン食い競争



巻取りゲーム



玉落とし



表彰式



大玉転がし



みんなの川柳コーナー

今回は冬に関する作品を紹介します。

- 鶏頭の色燃えつきて冬に入る
- 冬来たりハウスシチューのコマーシャル 三木真由美



小峪 善恵



中野けんせいえん

地域防災イベントを開催しました

11月8日(土)、地域の皆さまと、職員対象に防災イベントを開催しました。前半は岡山東消防署の隊員の方と芳野分団員の方のご協力で心肺蘇生法(CPR)とAEDの



使い方を学びました。実演では、隊員と分団員の方が息の合った動きで、胸骨圧迫・AED装着・周囲確認まで一連の流れを披露。適切な指示出しや連携の良さから、命を救う現場のチームワークを感じました。



参加者からの質問にも、一つひとつ丁寧に答えていただきました。冬場は体調急変が増える時期のため、いざという時に行動できる準備の大切さを再確認する時間となりました。後半は、地域や職員の子どもたちも一緒に

参加し、水消火器体験を行いました。これから乾燥が進み、火災の多い季節になります。火事を起こさないことが一番ですが、万が一の時に行動できるよう学んだことを活かしていきます。最後に、消防車の見学など普段触れることのない世界に子どもたちも興味津々な様子でした。



末筆になりましたがご協力いただいた岡山東消防署の皆さま、芳野分団員の皆さま、そして参加してくださった地域の皆さまに心より感謝申し上げます。



中野けんせいえん友の会

秋の小旅行

今回の小旅行の行先は、みんなで検討した結果、美味しいものを食べようというところになり、新見市に千屋牛を食べに行くことになりました。人気の焼き肉レストランで食べた千屋牛は、とても柔らかく、お肉の旨味が口いっぱい広がりと、とても幸せなランチタイムでした。



お腹が満たされた後は、隣の産直市場でお買い物をして、高梁市の吹屋ふるさと村でべんがらステンシル体験をして、赤胴色の石州瓦とベングラ色の外観で統一された素敵な街並みをお散歩しました。コースターは個性あふれる作品が出来上がりました。5色から何通りもの色味が出せて、とても奥深い染物だと思いました。天気も不安でしたが、お散歩タイムは青空が広がり、紅葉も美しく、秋を満喫できました。

次回はどこに行こうかな!?



「介護士にしてみたら私」

さくら苑デイサービスセンターつくしんぼ所長 藤本早織

18年前の私は「まだ社会人になりたくない」そんな思いから、介護の専門学校に進学した。介護の世界は決してあまくはなかった。知らないご利用者とのコミュニケーション、初めての排泄介助は衝撃的でした。場に立ち尽くしていると、実習指導者から「何しに来とん?利用者さんの生活の場にお邪魔させてもらっとなよ。」と言われ、「来て来て来た訳じゃない!」と心の中で言い返した。そんな実習に耐え切れず逃げ出そうとした時、施設の男性ご利用者から「あなたはええ介護士さんになるよ。頑張られよ。」と魔法みたいな言葉をかけてもらった。その言葉をきっかけに、初めて介護の道に進む決心がした。しかし、岡山中央福祉会に入社し、介護士として働き始めた当初、覚える事が多く勤務時間もバラバラで日曜日や祝日も関係ない勤務体制。憂鬱な気持ちで出勤していた当時、いつ逃げ出そうかと考えるようになっていった。そんな時、100歳近くの女性ご利用者を車椅子からベッドへ移乗介助を行った。すると、そのご利用者が笑顔で私の手をさすりながら「ありがとう。ありがとう。」と私の目を見ながら伝えてくれた。その時の手の温もり、心が満たされていく感覚に介護士の魅力を感じた。それから、16年経った今、介護士の仕事を誇りを持ってできるようになっている。たくさんのご利用者との出会い、別れも経験してきた。楽しい思い出もあれば、後悔している事もある。「ご利用者に行ってきたケアは正しかったのか?自己満足で終わってなかったか?」振り返ると自信がない。介護の世界はとても深く、100%はない。少しでも100%に近づける為、ご利用者の今まで生きて来られた生活歴から知ろうとする努力が大切である。私は、これからも努力する介護士であり続けたい。



地域の皆さまのご意見・ご感想をお聞かせいただけますと、今後の活動の参考になります。お気づきの点がございましたら、お気軽にお知らせください。

